

指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】 平成29年度

1 総則

指定管理者	公益財団法人 守口市文化振興事業団
事業期間	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
管理体制	守口市生涯学習情報センター（以下「ムーブ」と記載） 職員 6名 館長 (1名)【司書有資格者】 課長 (1名)【司書有資格者】 課長 (1名)【司書有資格者】 嘱託 (3名)【内司書有資格者2名】 臨時 12名 受付 (5名)【内1名枠外部委託】 図書 (7名)【内司書(補)有資格者7名】 図書専門官 1名 (エナジーと兼務) 舞台技術管理常駐者 <外部委託> 1名 警備員 <外部委託> 2名 清掃 <外部委託> 3名 設備環境衛生管理技術者 <外部委託> 1名 電気主任 <外部委託> 1名
	守口文化センター（以下「エナジー」と記載） 職員 3名 館長 (1名)(事業課長と兼務) 課長 (1名)【司書有資格者】 嘱託 (1名) 臨時 17名 受付 (8名)(1名:図書と兼務) 図書 (9名)【内司書有資格者3名】 図書専門官 1名 (ムーブと兼務) 舞台技術管理常駐者 <外部委託> 1名 警備員 <外部委託> 3名 清掃 <外部委託> 4名 設備環境衛生管理技術者 <外部委託> 1名 電気主任 <外部委託> 1名
職員の勤務状況	職員 ローテーションにより、2交代制で勤務 夜間においては、1名以上の職員を配置し、緊急時に対応 臨時 ローテーションによる勤務

守口市生涯学習情報センター

2 施設のサービス水準
(1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	午前9時～午後9時 【図書フロア】 1) 平日(火～金曜日) 午前10時～午後8時 2) 土曜・日曜・祝日 午前10時～午後5時	条例・規則、協定書に基づき実施	条例・規則、協定書に基づき実施
	受付・案内	施設の管理運営に支障がないように配慮するとともに、利用者の要望に応えられる体制とする。	施設予約や図書の受付等に関する各種マニュアルに基づき、お客様の目線に立ったきめ細やかな対応を目指した。特に施設の顔である受付・案内業務の重要性に鑑み、市民に好感を持っていただける対応に留意した。	特に苦情等もなく、適切に対応できた。今後とも、きめ細やかな対応と好感を持っていただける親切的な受付・案内業務を目指していきたい。
	料金設定	条例・規則により規定	条例・規則に基づき実施	条例・規則に基づき実施
	広報・宣伝	チラシ等を作成して近隣施設に配付し、利用の促進等宣伝活動を行うとともに類似公共施設のポスターの掲示PRの相互協力、ホームページの維持管理・作成業務等 管理運営業務仕様書に示された内容	ホームページや機関紙を活用し、各施設のイベント情報や利用案内等の情報発信に努めた。ポスター、チラシ等を作成し、PRに努めた。また、八幡市、枚方市、門真市等の類似施設とも連携し、広報面での相互協力を図った。	適宜ホームページを更新するとともに、財団機関紙の「情SHOW気流」を4回季刊発行するなどして、PRと利用の推進を図った。情報誌や各種チラシ等のアナログメディア、ホームページ等のデジタルメディア、情報提供コーナー等のスペースメディアを通じた広報活動を積極的に行い、生涯学習のPRと推進に努めた。
施設維持管理業務	清掃・保守 点検	「基本協定書(以下“協定書”と記載)及び「管理運営業務仕様書(以下“仕様書”と記載)」に示された内容	仕様書に基づき実施。点検の結果、修繕を要するものは市と協議し、施設の適正な維持管理に努めた。	業務仕様書のとおり実施した。大規模改修を要するものは、市に報告し、適切な維持管理に努めた。
	修繕	協定書及び仕様書に示された内容	件数: 24件 金額: 3,146千円	設備の老朽化が著しく、小規模な修繕では追いつかない状況になってきている。全体の建物検査が必要であり計画的な修繕の執行が緊急課題である。
	利用者数	仕様書に特に規定なし	施設利用計 109, 893人 イベントホール 33,179 人 グリーンルーム1 23,896 人 グリーンルーム2 23,670 人 研修室 9,821 人 会議室 2,671 人 プラネタリウムドーム 10,744 人 ギャラリー 5,912 人	平成28年度(97,245人)より13%(12,648人)の増で、次年度以降も利用増に努めたい。
			図書フロア計125,809人 図書フロア 113,327 人 視聴覚コーナー 12,482 人	
	利用料金	収入目標 13, 068千円	収入 11, 379千円	平成28年度の実績は、11, 220千円であった。今年度は若干の増収となったが、収入目標を下回っているため、次年度はさらに収入を増やすように努めたい。
	利用率	仕様書に特に規定なし	イベントホール 26.1 % グリーンルーム1 20.1 % グリーンルーム2 18.7 % 研修室 20.9 % 会議室 10.5 % プラネタリウムドーム 9.6 % ギャラリー 3.7 %	利用人数が若干の増となった為、利用率においても同様の傾向が見られる。次年度も利用の増に努めたい。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
その他業務	職員研修	仕様書に基づき、各種研修の実施	業務を円滑に進めるための打合せ会、緊急時における対応のための消防訓練等の研修を行った。図書フロアにおいては、専門職の能力向上のため、大阪府公共図書館協会主催司書セミナーはじめ、障がい者サービス研修、協力貸出担当者研修、参考業務研修会等に参加し、研鑽を深めた。	適正な業務遂行のための各種研修を実施し、職員等のレベル向上に努めるとともに、毎日の朝礼、毎月の定例会議で日常の課題に対する情報共有および解決に努めることができた。
	個人情報保護	協定書及び仕様書に基づき、個人情報保護の適正な管理を行うために必要な措置を講じる。	個人情報に関わる書類・データの取扱いには、厳格に対処した。個人情報保護規定に基づき、書類の速やかな処分(データ入力後裁断処理)や個人情報が第三者に漏れる(個人情報の入った電子媒体の持出し禁止等)ことのない措置を講じた。	個人情報の記載された書類・データの取扱いについては、特に注意(第三者に目に触れない措置等)して、業務を遂行するよう周知徹底した。
	情報公開	協定書及び仕様書に基づき、情報の公開について必要な措置を講じる。	開示請求はなかった。 今後開示請求があった場合は、市と協議し、当事業団の「情報公開規定」に基づき対応。	開示請求は受けなかったが、日常の利用者への対応についても分かりやすく心がけるなど、開かれた施設運営を目指した。
	事故等への対応	適切な措置を講じ、委員会、関係機関に通報	幸い事故等は無かった。	幸い事故等は無かったが、万一の事態を想定し各自が緊張感を持って業務の遂行に努めた。

事業達成度評価 コメント	事業達成度評価
運営業務については、協定事項等に基づき実施し、創意工夫を凝らした広報宣伝に努めた。 施設維持管理業務については、協定書・仕様書に基づき実施し、適正な維持管理に努めた。 施設利用許可業務のうち、利用料金収入については、目標値を下回ったため、次年度以降、増収に努めていきたい。 自主事業については、概ね計画通り遂行でき、生涯学習に関わる多種多様な事業を実施した。	A

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業・ムーブ	お花見歴史散歩	独自事業【ムーブ】	職員が市内の名所・旧跡を案内して約5キロを散策。桜を楽しみながら郷土史理解の一助となった。 ①開催日:平成29年4月4日(火) ②開催場所:佐太天神宮ほか市内名所をさんぽ ③実施回数:1回 ④定員:20人 ⑤参加人数:16人 ⑥参加率:80.0% ⑦その他 講師の手作り記念品(キーホルダー)やペットボトルを参加者に進呈。	ウォーキングを伴う事業なので健康増進の側面もあり、毎回ほぼ満員である。リピーターも多く、好評をいただいている。
	もりぐち市民大学講座(前・後期)	独自事業【ムーブ】	多様なジャンルの市民向け教養講座を全10回開催。 ①開催日:(前期) 平成29年5月27日(土)「木津川計氏講演会」 6月24日(土)「近世大坂の町人文化」 7月22日(土)「中西家文書の魅力」 8月26日(土)「右脳の活用術」 9月23日(土)「飯盛城跡の価値と魅力」 (後期) 11月18日(土)「口は健康の入口」 12月9日(土)「健康寿命を伸ばす最新の健康食科学」 平成30年1月27日(土)「らくらくバレエストレッチ」 2月24日(土)「貴方の生き生きエネルギー循環マップを作ろう」 3月24日(土)「健康体操～肩腰のセルフケア」 ②開催場所:3階研修室、1階エントランスホール等 ③実施回数:全10回 ④のべ定員:50人×5回×2期 ⑤のべ参加人数:259人 ⑥参加率:51.8%	多彩な題材(歴史・健康・生き方等)・講師による講演会やワークショップなどで多くの集客を得た。
	星空ウォッチング	独自事業【ムーブ】	市民一般に天文への興味付けを図るため、ムーブの開館以来継続している事業。 ①開催日:平成29年8月20日(日)、平成30年3月25日(日) ②開催場所:大日公園 ③実施回数:2回 ④定員:80人×2回 ⑤参加者数:60人 ⑥参加率:37.5%	土星、月、プレアデス星団などを天体望遠鏡で観察でき、好評であった。特に開催中に偶然、上空を通過した人工衛星の輝く様子に参加者は驚いていた。
	プラネタリウム学習番組の投影	独自事業【ムーブ】	子供たちに科学への興味付けを図るため、期間を定めてプラネタリウム学習番組を投影。「月の動き」など。 ①開催日:平成29年6月1日(木)から7月14日(金)まで ②開催場所:プラネタリウムドーム ③実施回数:26回 ④のべ定員:150人×26回 ⑤のべ参加人数:1,877人 ⑥参加率:60.2% ⑦その他:職員が機器の操作、解説すべてを行なう。	平成21年のプラネタリウム休止後も財団の自主事業として毎年学習番組を投影している。学校・園から多くの投影依頼があり、プラネタリウムの有効活用を担っている。
	なつやすみファミリーフェスタ	独自事業【ムーブ】	夏休みに「スーパーボールすくい」や「納涼DVD落語会」「工作教室」など多様な三世代交流事業を実施。 ①開催日:平成29年7月29日(土)～7月30日(日) ②開催場所:1階エントランスホール ③内容及び参加者数: 7月29日、30日「スマートボールすくい」64人、 7月29日「納涼DVD落語会」30人、 7月30日「工作教室」9人、「ワンワンセミナー」3人	毎年夏休みに実施しているムーブ21の恒例事業で皆様に楽しんでいただけた。「ワンワンセミナー」など毎年新しい内容を織り込み、飽きの来ないイベントの企画に心がけている。
	もりぐちeセミナー～女と男のエンパワメント講座	守口市との共催事業【ムーブ】	人権や女性問題をテーマにした連続講座を守口市、大阪国際大学との三者共催で実施。 ①開催日:平成29年10月5日～11月2日【毎木】 ②開催場所:研修室 ③実施回数:5回 ④のべ定員:50人×5回 ⑤参加人数:240人 ⑥参加率:96.0% ⑦内容:10月5日「充実した余暇を過ごすために」 10月12日「在宅・施設で安心して暮らせる食事」 10月19日「暮らしと憲法ー過去・現在・未来」 10月26日「AI革命は社会と暮らしをどう変えるか」 11月2日「多様化する社会・家族の中でいきいきと自分らしく生きるために」 ⑧その他:守口市との共催事業	ムーブ21開館以来、人権啓発セミナーとして市と共催で取り組んできた。今年は「私の暮らし、どうかわっていただく」をテーマに多くの参加者を得て好評であった。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業・ムーブ	土曜ステージ	独自事業【ムーブ】	毎週土曜日、音楽や演芸等を学んでいる学習者に発表の場を提供している。ムーブ開館以来継続している事業。(無料事業) ①開催日:平成29年4月1日～平成30年3月31日 毎週土曜日(5週目は休演) ②開催場所:エントランスホール ③実施回数:48回 ④総来場者数:2,480人	出演予約が予約解禁日に即日終了となる人気事業となった。公共施設で毎週行われるロビーコンサートは稀であり、アマチュアにとって貴重な研鑽の場であるとの評価もいただいた。
	エクセレントコンサート	独自事業【ムーブ】	ほぼ毎週日曜日、器楽、声楽を中心に若手アーティストに研鑽の場を提供している。(有料事業) ①開催日:平成29年4月2日(日)～平成30年3月31日(土) ②開催場所:エントランスホール ③実施回数:54回 ④総来場者数:3,349人	500円～1,000円で質の高い演奏が聴けるとの評価をいただいている。リピーターも多く、毎週日曜(実施日)が楽しみとの声も多い。出演者の多くは音楽系大学の学生か卒業生でクラシックが中心。
	第10回大日寄席	独自事業【ムーブ】	平成19年よりムーブの活性化のため実施している事業で若手落語家の研鑽の場でもある。落語以外にバベット落語や曲芸、三味線講談など色ものも取り入れた異色の寄席である。 ①開催日:平成29年6月18日(日) ②開催場所:イベントホール ③出演者:笑福亭鶴瓶・露の都 他 ④定員:300人 ⑤参加者数:305人 ⑥参加率:102.1%	笑福亭鶴瓶・露の都他、特に人気のある演者を招き、多くの参加者を得た。今後も集客が図れる出演者の人選に努める。
	新春を彩る箏の調べ	独自事業【ムーブ】	伝統芸能の振興と若手演奏者の研鑽を図るため邦楽コンサートを開催。 ①開催日:平成30年1月7日(日) ②開催場所:4階イベントホール ③定員200人 ④参加者数:224人 ⑤参加率:112.0% ⑥その他:来館者に和菓子付抹茶サービスを行った。職員がすべて準備し運営している。	地元の著名な邦楽演奏家がチケット売り捌きの協力をしてくれるため、毎回ほぼ満員である。
	プラネタリウム怪談ナイト	共催事業【ムーブ】	平成17年よりムーブの活性化と若者をターゲットに実施している季節に因んだ事業。年1回実施。 ①開催日:平成29年8月11日(金・祝) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③出演者:中山市朗(作家・怪異蒐集家) ④定員:160人 ⑤参加者数:120人 ⑥参加率:75.0%	夏の講演会事業として定着している。お客様が多方面から来られるためネットワークプレイガイド(ローソンチケット)の売り捌きが一番よい事業でもある。
	デジタルで蘇る名作映画上映会	共催事業【ムーブ】	ヒッチコック監督作品「見知らぬ乗客」「海外特派員」や「アンナカレニナ」「美女ありき」「ハムレット」など外国の名作映画を上映した。 ①開催日:平成29年4月28日、7月28日、10月27日、1月26日各(金) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③実施回数:4回 ④延べ来場者数:120人 ⑤延べ定員:400人 ⑥参加率:30.0%	往年の名作映画をスクリーンで観覧できる機会は少なく、未見の観客や懐かしくてもう一度といった観客に喜んでもらえる企画であった。
	優秀映画鑑賞推進事業	共催事業【ムーブ】	海外ではクロサワ・ミズグチ・オズに次ぐ第四の巨匠と呼ばれる成瀬巳喜男監督の名作映画「乱れ雲」他3本を文部科学省と共催して開催した。 ①開催日:平成29年11月26日(日) ②開催場所:イベントホール ③実施回数:1日4回上映 ④延べ来場者数:155人 ⑤延べ定員:100人×4回 ⑥参加率:38.8%	文部科学省所管の東京国立近代美術館が所蔵する、なかなか見ることのできない映画作品を市民等に公開上映できた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業・ムーブ	熟睡プラ寝たリウム	主催事業 【ムーブ】	星空を眺めながら安眠できるひと時を提供した。 ①開催日:平成29年7月8日(土)、12月2日(土) 平成30年3月3日(土) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③実施回数:3回 ④参加者数:103人 ⑤定員:80人×3回 ⑥参加率:42.9%	ストレスの多い時代に癒しを求める方々にひと時の リラックスタイムを提供でき、有意義な事業であった。
	京極夏彦氏文化講演会	主催事業 【ムーブ】	人気作家・京極夏彦氏を講師に招き文化講演会を実施。 併せて幼稚園児らが描いた妖怪画を展示した。 ①開催日:平成29年7月23日(日) ②開催場所:イベントホール ③実施回数:1回 ④定員:160人 ⑤参加人数:168人 ⑥参加率:105.0%	「記される怪 ～記録と文芸、怪談と妖怪～」と題して、世 の怪異と記録、自らの作品世界について講演いただい た。講演機会の少ない人気作家の会なので、市内外から 多くの観客を得た。
	エントランス市民作品展	独自事業 【ムーブ】	市民等に手作り作品等の展示発表の場を提供。 ①開催日:平成29年4月1日(土)～30年3月31日(土) ②開催場所:エントランスホール	市内の個人等に写真・絵画・書道等の作品展示をいただ き好評を得た。今後も継続していきたい。
	コイン式インターネット	独自事業 【ムーブ】	ネット検索、メール、ブログ更新等に利用できるインター ネットブースを設置している。100円で15分利用可能。 携帯の充電もできる。 年間利用者数:1,246人	撤去した1階公衆電話の跡スペースを有効活用して情報 センターにふさわしいネット環境を市民に提供している。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業（図書事業）・ムーブ	【子どもの読書支援事業】 おはなし会	独自事業 【ムーブ】	職員・おはなしボランティアグループで、絵本の読み聞かせ・紙芝居・エプロンシアター・パネルシアター・手遊び等を実施した。話し手と距離が近いので臨場感が生まれ、毎回好評を博している。 ①開催日:毎月第1・3土曜日 ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:23回 ④定員:自由参加のため、カウント対象外 ⑤参加人数:1,115名 ⑥参加率:自由参加のため、カウント対象外 ⑦その他 対象:乳幼児から小学校低学年まで。	「子どもの読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 毎回、多くの親子で賑わう。読み手であるボランティアや職員たちと、聞き手である子ども達の双方向性があり、刺激も多い。 本事業は、開館当初から開催している子ども向け図書イベントの中核となる事業であり、今後共継続していきたい。
	【子どもの読書支援事業】 出前事業 (出前講座& 出前おはなし会)	独自事業 【ムーブ】	図書スタッフが、市内幼稚園・小学校・中学校等に出向き、図書フロアの利用方法など図書館関連の講座を実施する「出前講座」や、絵本の読み聞かせ等を実施する「出前おはなし会」を開催した。 ①開催期間:通年 ②開催場所:市内幼稚園・小学校・中学校・支援学校・高齢者施設 等 ③実施回数:6回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:108名 ⑥参加率:カウント対象外	「子どもの読書支援事業」の一つとして、平成18年以来、継続して実施している事業。 「出前講座」は、学校現場の他、高齢者施設に出向き開催した。 特に、学校では図書ボランティアの方々、学校図書館司書から「本の修繕方法」のテーマをリクエストされることが多かった。 「出前おはなし会」では、「絵本の読み聞かせ」や、「しかけ絵本の紹介」、「早口言葉ゲーム」などが好評であった。
	【子どもの読書支援事業】 読書推進展示	独自事業 【ムーブ】	「月毎のテーマ展」や「社会のトピックス関連の図書」等を展示し、さまざまな図書を紹介、子ども達の読書活動の推進を図る。 ①開催期間:通年 ②開催場所:図書フロア展示コーナー ③実施回数:12回(展示期間:1回につき1ヶ月間) ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 展示冊数:4,511冊・貸出冊数4,443冊 *内訳 毎月テーマ展:3,889冊 新聞・雑誌の書評展:201冊 青少年本(YA本)展示:233冊 守口ゆかりの作家展:120冊 しかけ絵本展:68冊	「子どもの読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 所蔵本を、さまざまなテーマや、社会現象などを切り口にして展示し、利用者の興味を呼び起し、新たな分野への読書を誘う事ができた。 また、館内イベント開催時に、関連資料を大規模展示・貸出することにより、イベントと図書を結びつけることができ、利用者からも好評であった
	【子どもの読書支援事業】 子ども読書の日記念① 春のおたのしみ会 ☆ビックブックの紹介& 子どもDVD上映会☆	独自事業 【ムーブ】	「子ども読書の日」を記念し、普段、公開していないビックブック絵本(大型絵本)とビック紙芝居(大型紙芝居)の紹介と読み聞かせを実施。また、所蔵の子ども向けDVDの上映会を実施した。 ①開催日:平成29年4月15日(土) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:自由参加のため、カウント対象外 ⑤参加人数:32名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 対象:乳幼児から小学校低学年まで。	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 通常版絵本・紙芝居の約4倍強の大きさのビックブックとビック紙芝居に、子ども達は驚くほど興味を示し、また、ご家族様たちも興味津々でご覧になっておられた。 イベント終了後も、子ども達が一斉に資料に飛びつき、熱心に読んでいる姿が見受けられた。
	【子どもの読書支援事業】 子ども読書の日記念② 「司書がススめる この一冊」展示	独自事業 【ムーブ】	図書フロアで働く司書10名が各々推薦する一般図書・児童図書 計90冊を展示・貸出を実施。 ①開催期間:平成29年4月22日(土)~5月14日(日) ②開催場所:図書フロア展示コーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数:99冊	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 利用者から、「司書のみなさんは、普段どのような本をよんでいるのか?とても興味がある」とよく質問される。この展示は、それに答えるイベントとして開催しているが、想像以上に好評で、もっと展示回数を増やしてほしいとリクエストされた。 これからも継続実施していきたい事業である。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業(図書事業)・ムーブ	【子どもの読書支援事業】 おはなし読み聞かせ ボランティア養成講座	独自事業 【ムーブ】	子どもの読書活動推進に寄与するため、読み聞かせボランティアを養成した。 ①開催日:平成29年6月10・17日(各土) ②開催場所:ワークルーム ③実施回数:2回 ④定員:12名 ⑤参加人数:16名 ⑥参加率:133.3%	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 初心者だけでなく、現在、読み聞かせボランティア活動を行っている方々も多く受講された。 成果発表の場として、ムーブのおはなし会に参加していただいた。緊張しながらも、全員、精一杯読み聞かせをされていた。 現在、修了生は、いずれも各おはなしグループに入り、活躍されている。
	【子どもの読書支援事業】 YAコーナーへの 新書本配置	独自事業 【ムーブ】	読書離れが進むYA世代の読書活動の推進を図るため、司書を選んだYA向きの本375冊を展示した。 ①開催期間:平成29年6月20日(火)～30日(金) ②開催場所:図書フロアYAコーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数:375冊	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 他の世代に比べ特に読書離れが激しく、SNSが情報享受の主流であるYA世代に少しでも読書を興味をもっていただけるよう実施した。 予想以上に、多くの人が本を手にとって読んでおられた。今後もぜひ継続していきたい事業である。
	【子どもの読書支援事業】 夏のおたのしみ会 ☆歯医者さんのおはなしと紙芝居☆	独自事業 【ムーブ】	夏休みを前に、子どもの読書活動の推進と歯の健康の大切さを学ぶため、歯科医師会の協力で、歯医者さんによるおはなしと絵本の読み聞かせ、紙芝居の公演を実施。 ①開催日:平成29年7月15日(土) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:60名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 講師:守口市歯科医師会 山本歯科医院スタッフ& ボランティアサークルくすの木 混成チーム	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 市内すべての保育所、こども園に事前PRを行い、地元の町会のすべての掲示板にポスター掲示を行った。 結果、多くの親子連れで賑わった。子ども達は、こわ〜いイメージの歯医者さんと衛生士さんたちが語るオモシロイおはなしと、紙芝居に身を乗り出して聞き入っていた。 また、子ども達はお話しを通して、歯の大切さを学んでいる様子が伺えた。 最後に、歯医者さんから参加者全員にプレゼントがあり、子どもたちは大喜び。親御さんからは次回以降もぜひ開催をと感謝とリクエストを受けた。
	【子どもの読書支援事業】 「銀河鉄道の夜」DVD上映会 in プラネタリウムドーム	独自事業 【ムーブ】	宮沢賢治著「銀河鉄道の夜」DVD上映会をプラネタリウムドームで実施。 ①開催日:平成29年8月27日(日) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③実施回数:1回 ④定員:自由参加のため、カウント対象外 ⑤参加人数:130人 ⑥参加率:自由参加のため、カウント対象外	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 プラネタリウムドームの満天の星空の下、上映されるDVDのお話に、「まるで宇宙空間に自分たちが飛び出して、体験している様だ」と多くの参加者から感想を寄せられた。 来年度は、また違ったテーマでぜひ開催していきたい。
	【子どもの読書支援事業】 秋の読書週間記念事業 ぬいぐるみお泊まり会	独自事業 【ムーブ】	秋の読書週を記念し、幼児から図書館に親しんでもらい、本との触れ合いを深めるため実施した幼児向けの読書支援事業。 ①開催期間:平成29年10月28日(土)～29日(日) ②開催場所:図書フロア ③実施回数:1回 ④定員:6名 ⑤参加人数:7名 ⑥参加率:116.7%	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。 本事業は、もともと米国の公共図書館が、読書離れが進む子ども達の図書館利用を促進するため取り組んだ事業であり、昨年度はじめて実施し、参加者から非常に好評で、継続実施を望む声が多く、今年度も継続実施した。 子ども達が大切にしている「ぬいぐるみ」を図書フロアで一晩預かり、そのぬいぐるみ達が、閉室後の図書フロアで絵本の読み聞かせや、本の整理、カウンター業務を体験している姿を写真撮影し、翌日お迎えに来た子ども達にプレゼントする。 ぬいぐるみが楽しく図書フロアで働く姿を見て、子ども達に図書館への興味を持ってもらうことが本事業の狙いである。リピーターの参加者が多く、さらに、今後も続けてほしいとの声が多く寄せられた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業（図書事業）・ムーブ	【ブックスタート支援事業】 ①冊子「絵本の読み聞かせQ&A」 ②冊子「ムーブ21 おススメ赤ちゃんに贈るはじめての絵本」の発行	独自事業【ムーブ】	1、冊子「絵本の読み聞かせQ&A」の発行 プレママ・プレパパにおくる絵本の選び方と読み聞かせ方法のポイント・注意点を紹介。 2、冊子「ムーブ21 おススメ赤ちゃんに贈るはじめての絵本」の発行 所蔵絵本の中から司書が推薦する絵本をピックアップし紹介。 ①配布期間:通年 ②配布場所:ムーブ図書カウンター、文化センター、子育て支援センター、市民保健センター ③発行部数:660部	「ブックスタート支援事業」として実施した。 毎年、プレパパ・プレママから子どもへの読み聞かせに関する相談が多く寄せられる。 その中で、特に相談件数の多いテーマに絞り、冊子を作成した。 プレパパ・プレママだけでなく、祖父母世代達も手に取られる方々が多く、これからも継続して事業である。
	【図書館教育支援事業】 保育所、幼稚園、小・中・高・支援学校、高齢者施設、各種団体による図書フロア見学	独自事業【ムーブ】	市内の保育所、幼稚園、小・中・高・支援学校、老人施設、各種団体が図書フロア見学し、図書フロアの利用方法等を学ぶ。司書が「図書フロアのしくみ」講座を行なった後、図書フロア見学を開始する。また、通常は貸出対象外である「しかけ絵本」の紹介やブックトーク等も実施した。見学の最後には必ず質問コーナーを設け、参加者からの質問に司書が回答した。 ①実施期間:通年 ②実施場所:1F視聴覚コーナー、対面朗読室、点字図書コーナー、2F図書フロア ③実施回数:49回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:1,827名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。 毎年、多くの幼稚園・保育所・学校等が図書フロア見学に来て下さるが、今年度は、障害者施設、高齢者施設に入所されている方々の見学が多く、1回目の見学以降、少人数で継続的に来館されるグループも見受けられる。施設はバリアフリーだが、利用のバリアフリーを推進し、より多くの皆様に読書を楽しんでいただきたい。今後も、多くの見学者を受入れたい。高齢者団体の見学の際、大活字本の紹介などを実施し非常に好評をいただき、団体貸出増加に繋がった。
	【図書館教育支援事業】 小・中学生の職場体験学習受入	独自事業【ムーブ】	図書館業務の体験を通して、子ども達が働くことの意味や図書館の仕事の流れを学ぶことにより、仕事と図書館に関心を持ってもらうため実施した。 ①実施期間:通年 ②実施場所:図書フロア ③実施回数:12回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:5校 24名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。 毎年、多くの小・中学生の職場体験学習生として受入れている。本が好きで図書フロアで働いてみたいという意思をもって受講する生徒達ゆえに、非常に真面目に取り組んでおられる。 子ども達からは、想像以上に大変だったと感想を寄せられた。 この職場体験に参加した子ども達は、その後もずっと図書フロアを利用されるケースが多く、現在、すでに成人になった元受講生も多く利用されている。 我々スタッフも気を引き締め、これからも長く継続していきたい事業である。
	【図書館教育支援事業】 学校図書館主催者教諭との研修会	教育委員会との協力事業【ムーブ】	市内小・中学校の学校図書室担当教員との研修会を実施。団体貸出のしくみ、出前事業・図書フロア見学、職場体験学習の受入等を紹介し、図書フロアのさまざまな利用方法を説明。意見交換会を通じて、学校図書館とムーブの連携を図る。 ①開催日:平成29年6月2日(金) ②開催場所:研修室 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:30名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 教育委員会・学校教育課との協力事業。	「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。 昨今、図書館と学校との連携が注目をされているが、学校側の担当教諭は毎年代わるので、学校への出前事業・団体貸出の説明等を中心に実施した。 今後共、学校との連携に努め、守口市の子供の読書活動推進に努めていきたい。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業(図書事業)・ムーブ	【図書館教育支援事業】 図書館司書をめざす 大学生との座談会	独自事業 【ムーブ】	近畿大学及び京都外国語大学との協力事業。 将来、司書をめざす大学生たちと、図書フロアで働く現役司書連との座談会を実施。学生たちに司書業務を紹介し、社会教育施設で働く司書として市民に対してどのようなサービスを提供しているのかを紹介し、学生達の将来の職業選択の一助となるよう実施。 ①開催日:第1回 平成29年6月13日(火) * 近畿大学 第2回 平成29年7月5日(水) * 京都外国語大学 第3回 平成29年7月22日(土) * 同志社女子大学 ②実施場所:図書フロア ③実施回数:3回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数 第1回:3名、第2回:4名、第3回:3名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。 現役司書と、司書資格取得中の大学生との座談会。 現場での仕事内容や、生涯学習の中核施設として位置づけされているムーブが、多様な読書活動推進事業を展開し、市民の生涯学習活動の支援を図っていることを、座談会を通じて学んでいただいた。 参加された大学生たちは積極的にどんどん質問され、今後の事業継続の糧としていきたい。
	【図書館教育支援事業】 学校図書館司書 との研修会	教育委員会 との 協力事業 【ムーブ】	市内小・中学校の学校図書室に配置されている学校図書館司書との研修会を実施。 本や雑誌の修繕方法をワークショップ形式で実施し、また、実習後、意見交換会を行った。 研修会を通じて、学校図書館とムーブの連携を図る。 ①開催日:平成29年7月19日(水) ②開催場所:ワークルーム ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:12名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 教育委員会・学校教育課との協力事業。	「図書館教育支援事業」の一つとして、今年度初めて実施した。 ムーブ図書フロアと学校現場との連携を強化すべく、学校教育課の協力で実施。 学校図書館で働く司書を対象に研修会を行い、子ども達と読書を結ぶPR方法や、図書室だよりの編集方法などを伝授した。 子ども達の読書活動推進に寄与する為、今後共ぜひ継続したい。
	【図書館教育支援事業】 子ども1日 図書館サポーター体験講座	独自事業 【ムーブ】	子ども達が、司書から「本や図書館の歴史」「図書フロアの仕組み・有意義な利用方法」等を学習した後、実際に図書カウンターで司書業務を体験。体験を通じて、子ども達が本や図書フロアに親しみ、読書活動の推進が図られるよう実施。また、生涯にわたり図書フロアを利用し、「図書館サポーター」として、他の人達にも「読書のおもしろさ」等を伝えてもらうことが出来るよう実施。 ①開催日:平成29年8月6日(日) ②開催場所:図書フロア ③実施回数:1回 ④定員:10名 ⑤参加人数:11名 ⑥参加率:110%	「図書館教育支援事業」の一つとして、平成7年度以来、継続して実施している事業。 司書1日体験を通じて、子ども達がより身近に図書フロアを感じ、その子だけでなく、友達や周りの人達も読書に興味をもっていただけるよう実施した。 参加した子ども達が楽しそうに業務体験する姿に、親御さんから感謝の言葉をいただいた。 これまでこの事業に参加された多くの子ども達が、成長し、社会人になってもムーブを利用して下さっている。 この事が図書スタッフの励みになっている。
	【図書館教育支援事業】 夏休み学習何でも相談 (調べ学習の支援)	独自事業 【ムーブ】	子ども達が、日頃抱いている疑問や質問等を司書が図書資料を介して助言を行い、子ども達自らで解決するよう導く。 ①実施期間:夏休み期間中 ②実施場所:参考資料室 ③実施回数:89回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:95名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書館教育支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 子ども達が司書の支援で図書資料を使って、自分の疑問を自分で解決できるよう実施していく事業。 子ども達にとっても「調べ学習」の大変貴重な体験をすることになる。 疑問が解決したときの子ども達の笑顔もとても素晴らしく、子ども達の図書フロア利用促進に大きく影響を与える事業である。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業（図書事業）・ムーブ	【図書館教育支援事業】 親子で1日図書体験 ～親子の司書体験～	独自事業 【ムーブ】	ムーブ21の司書が講師を務め、親子対象で行う図書館ボランティア体験講座。 「本や図書館の歴史」「図書フロアの仕組み・有意義な利用方法」等を学習した後、実際に図書フロアで業務体験を行う。 体験を通して、親子で図書フロアに親しみ、読書活動の推進が図られるよう実施。 また、生涯にわたり図書フロアを利用し、「図書館サポーター」として、他の人達にも「読書のおもしろさ」等を伝えてもらうことが出来るよう実施。 ①開催日:平成30年2月3・17日(各土) ②開催場所:図書フロア ③実施回数:2回 ④定員:各回8名 ⑤参加人数:第1回:10名、第2回:10名 ⑥参加率:第1回:125%、第2回:125%	「図書館教育支援事業」の一つとして今回はじめて実施した。 本講座は、学校図書館ボランティアのメンバーや「子ども1日図書館サポーター体験講座」に参加した子ども達のご両親からリクエストがあり実施した講座である。 参加者からは「これまで知らなかった図書館のしくみを知り、司書さんたちの仕事内容もわかり、とても楽しかった」と感想をいただいた。また、「これからも、この講座を開講してほしい」とリクエストされた。
	【図書館教育支援事業】 図書館司書をめざす 大学生の実習受入	独自事業 【ムーブ】	近畿大学との協力事業。 将来、図書館司書をめざす大学生の現場実習を受入れ、司書としての心構え、基本的な知識、業務を体験し、市民に対する図書館サービスを学んでいただく。 ①開催期間:平成30年3月21日(祝)～29日(金) ②開催場所:図書フロア・図書整理作業室 ③実施回数:8回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:8名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 近畿大学との協力事業	「図書館教育支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 将来、司書を目指す大学生達が、資格取得のため情報センター図書フロアでカリキュラムを履修し、実習を行った。 実習生は、すべての課程を修了し、司書資格を取得された。
	【障がい者の読書支援事業】 音訳図書の作成	独自事業 【ムーブ】	視覚障がい者の生涯学習活動を支援するため、障がい者が利用する音訳図書を自主製作。 ①実施期間:通年 ②実施場所:ワークルーム ③実施回数:25回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:225名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦製作数:76点	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、平成12年度以来、継続して実施している事業。 財団が主催する「音訳ボランティア養成講座」の卒業生達がボランティアグループを結成し、職員と共に、音訳図書を作成、視覚障がい者に提供している。 尚、利用者から音訳まちがい(アクセントの誤り)を指摘された資料があり、今後は、音訳責任者に最終確認を徹底するよう指示した。 *毎月、視覚障がい者に郵送貸出を行っている。
	【障がい者の読書支援事業】 点訳図書の作成	独自事業 【ムーブ】	視覚障がい者の生涯学習活動を支援するため、障がい者が利用する点訳図書を自主製作。 ①実施期間:通年 ②実施場所:ワークルーム ③実施回数:12回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:139名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦製作数:24冊	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 職員と点訳ボランティアグループのメンバーが所蔵本を点訳し、視覚障がい者に提供している。
	【障がい者の読書支援事業】 対面朗読の実施	独自事業 【ムーブ】	視覚障がい者の生涯学習活動を支援するため、職員・音訳ボランティアが、2時間1コマ単位で所蔵資料やリクエスト資料を朗読。 ①実施期間:通年 ②実施場所:対面朗読室 ③実施回数:4回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:12名 ⑥参加率:カウント対象外	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 職員と音訳ボランティアグループのメンバーが所蔵本やリクエスト資料を朗読し、視覚障がい者の生涯学習活動を支援している。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業（図書事業）・ムーブ	【障がい者の読書支援事業】 大活字本の収集	独自事業 【ムーブ】	標準文字では、読書が困難な視覚障がい者（主として弱視者）の生涯学習活動を支援するため、大活字本を収集。 ①実施期間：通年 ②実績：平成29年度末現在の蔵書数：976冊	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 視覚障がい者だけでなく、最近では高齢者にも非常に人気がある大活字本。 障害者施設・高齢者施設への団体貸出でも多く利用されている。
	【障がい者の読書支援事業】 フレクストーク・拡大読書機講習会	独自事業 【ムーブ】	標準文字では読書が困難な視覚障がい者（主として弱視者）や、高齢化が進み、指先の感覚が鈍り、これまで用いていた点字が判読困難となった全盲者が増加しているため、フレクストーク（DAISY図書判読機）の操作講習や、拡大読書機の操作講習会を実施。 ①開催日：平成29年8月25日（金） ②開催場所：図書フロア・ワークルーム ③実施回数：1回 ④定員：5名 ⑤参加人数：5名 ⑥参加率：100%	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、一昨年度からの継続事業である。 視覚障がい者の高齢化に伴い、点字図書からDAISY図書（世界共通基準）への移行が激しくなった。 本事業は、未だにDAISY図書に触れたことがない人を対象に実施。 DAISY判読機器であるフレクストークの講習会を行い、DAISY図書の利用促進に寄与するため実施。
	【障がい者の読書支援事業】 たのしい手話1日講座	独自事業 【ムーブ】	聴覚障がい者の図書フロア利用のバリアフリー化を促進し、また、聴覚障がい者にさまざまな支援ができる人材を養成。講師は、当事業団の職員（手話通訳士の資格をもつ司書）が務め、手話経験がない人を対象に実施。 聴覚障がい者と健常者が共に学び、共に学習活動を促進できるよう開講した。 ①開催日：平成29年12月10日（日） ②開催場所：ワークルーム ③実施回数：1回 ④定員：6名 ⑤参加人数：8名 ⑥参加率：133.3%	「障がい者の読書支援事業」の一つとして、平成24年度以来、継続して実施している事業。 聴覚障がい者は、一見図書フロア利用に不自由さは無いと誤解されているが、利用者カードの登録時に十分に説明を聞き取れず、また、読書相談・調査相談の際にも意思が伝えられなかったりするケースが多い。聴覚障がい者の不自由さを少しでも解消し、利用のバリアフリー化を目指し実施した。参加者は、親子連れが多く、聴覚障がい者の不自由さを初めて知ったという人が多かった。障がい者への理解をすすめ、障がい者・健常者が共に支えあうという大切さを学ぶ場となった。
	【読書と作品製作事業】 図書資料を利用した「作品展示」と 関連本展示・貸出	独自事業 【ムーブ】	「読書から生まれる作品づくり」の第1回目の事業として、所蔵本を参考にして製作された作品を図書フロアに展示し、利用者に紹介。また、関連本を展示・貸出し、市民の生涯学習活動及び図書資料の利用促進を図るため実施した。 ①開催期間：平成29年12月1日（金）～28日（木） ②開催場所：図書フロア展示コーナー ③実施回数：1回（期間中継続） ④定員：カウント対象外 ⑤参加人数：カウント対象外 ⑥参加率：カウント対象外 ⑦その他 所蔵資料を利用して製作した「編みぐるみ」11点の展示、及び関連本展示・貸出：108冊	「読書と作品製作事業」の一つとして実施した。 利用者からのリクエストで実施した事業。作品の展示・紹介を行なうことにより、作品を見た方々から多くの感想が寄せられた。「私もこれを作ってみたい」と話す人が多く、多くの関連本が貸出されて好評であった。
	【読書と作品製作事業】 たのしい手芸1日講座	独自事業 【ムーブ】	「読書から生まれる作品づくり」の第2回目の事業として、所蔵本を参考にして、クリスマスプレゼント用の作品を製作する1日講座。市民の生涯学習活動、及び図書資料の利用促進を図るため実施。 ①開催日：①平成29年12月9日（土）、②平成30年2月10日（土）、③平成30年3月11日（日） ②開催場所：ワークルーム ③実施回数：3回 ④定員：6名/回 ⑤参加人数：①8名 ②9名 ③5名 ⑥参加率：①133.3% ②150.0%③83.3% ⑦その他 マフラー、バックチャーム、ミトン、ブローチ等を製作する1日講座。 関連本の展示・貸出も実施。	「読書と作品製作事業」の一つとして、平成21年以来、継続して実施している事業。 親子で参加された方が多く、所蔵資料を参考に、講師の指導の下、マフラー、バックチャーム、ミトン、ブローチなどを作成しておられた。参加者は、全員作品作り成功し、とても喜ばれており、関連本も全て貸出済となった。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業（図書事業）・ムーブ	【環境学習支援事業】 環境カレッジ春プログラム 環境問題啓発図書展示	独自事業 【ムーブ】	「地球を守るため、自分たちが何ができるか」をテーマに、親子で楽しみながら環境の諸問題を学び、エコライフを実践できるよう、年間を通じ開催する「環境カレッジ」の第1回目の事業。災害・地球温暖化問題等さまざまな環境問題に関する資料の展示・貸出を実施、読書を通じ地球環境を守る大切さを学習していただくよう実施。 ①開催期間:平成29年4月1日(土)～6月25日(日) ②開催場所:図書フロア 展示コーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数:188冊	「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年以来、継続して実施している事業。 昨今、各地で地震・暴風雨による土砂崩れ等さまざまな自然災害が起こり、利用者の関心も非常に高い。 また、学校や職場単位での貸出希望も多くあり、多くの方に利用された。
	【環境学習支援事業】 環境カレッジ夏プログラム 環境問題ワークショップ	独自事業 【ムーブ】	「環境カレッジ」の第2回目の事業。環境問題への導入学習として、「親子対象ワークショップ」と「子ども環境DVD上映会」を実施。 ①開催日:平成29年8月19日(土) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:30名 ⑥参加率:カウント対象外	「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年度以来、継続して実施している事業。 一見、難しくとらえがちな環境問題でも、クイズ形式で進行していくワークショップならば、親子で楽しみながら学習できるため、参加者からは好評を得ることができた。 環境DVD上映会では、自然破壊の状況を最初はコワゴワ見ていた子ども達が、最後は真剣な表情で見つめていた。
	【環境学習支援事業】 環境カレッジ秋プログラム 本と雑誌のリサイクル市	独自事業 【ムーブ】	「環境カレッジ」の第3回目の事業。今回のテーマは「リサイクル」 図書フロアで不用になった図書や雑誌を、市民に無償譲渡(1人あたり上限10冊)し、資源の有効活用と読書活動の促進を図るため実施。 ①開催日:平成29年10月22日(日) ②開催場所:ギャラリー ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:513名 ⑥参加率:カウント対象外	「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年度以来、継続して実施している事業。 開場時間前から200名を越える市民が並び、非常に好評を得た事業であった。 また、市民からも毎年開催してほしい、もっと開催回数を増やしてほしいとの要望が多数寄せられた。 持ち帰り袋を有償化し、収入はすべて日本ライトハウスに寄付し、盲導犬育成に寄与した。
	【環境学習支援事業】 環境カレッジ冬プログラム 月周回衛星かぐや&子供向け環境DVD上映会	独自事業 【ムーブ】	「環境カレッジ」の第4回目の事業。テーマは「宇宙からみた地球」1年を通じて行ってきた環境カレッジの最終回。宇宙からみた地球。このすばらしい星を守るため、人類が何をすべきか、あるいは、何をしないといけないのかを学習する。あえて、クリスマスイブに開催し、地球環境について家族で考えてもらうよう企画した。JAXAの協力の下、「月周回衛星 かぐや」のDVD上映と解説。その後、子ども向け「環境DVD」を上映し、最後に、電子紙芝居(自主制作)を実施。 ①開催日:平成29年12月23日(土) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:自由参加のためカウント対象外 ⑤参加人数:23名 ⑥参加率:自由参加のためカウント対象外	「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年以来、継続して実施している事業。 1年間の活動を通じて、多く親子が参加された。 親子一緒に、環境の大切さを学び、生活の中で、すぐ実践できることを伝えることができた。 未来の地球のため、家族で環境問題を考えていただくよう開催した。今後も継続していきたい事業である。
	【高齢者の図書館利用促進事業】 敬老の日記念DVD落語会	独自事業 【ムーブ】	所蔵DVDの中から、特に人気がある「桂米朝・桂枝雀」の落語からそれぞれ2題を選んで、上映。とかく、自宅に引きこもりがちな高齢者の方々に、遠方に出かける必要もなく、自宅近くにあるムーブ図書フロアで、落語を楽しんでいただき、参加者同士の交流や資料の利用促進を図るため実施。 ①開催日時:平成29年9月18日(月/祝) 1部:午前11時～、2部午後2時～ ②開催場所:閲覧室 ③実施回数:2回 ④定員:32名 ⑤参加人数:53名 ⑥参加率:165.6%	「高齢者の図書館利用促進事業」の一つとして、平成16年以来、継続して実施している事業。 毎回、参加されるリピータも多く、高齢者だけでなく若い世代の参加者も多い。 休憩時間には、世代間の交流が見受けられた。参加者からのリクエストも多く、とても好評を得ている事業である。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業（図書事業）・ムーブ	【高齢者の図書館利用促進事業】 敬老の日記念 「拡大読書器講習会& 大活字本・ カセットブック ワークショップ」	独自事業 【ムーブ】	高齢化のため、標準大の文字が読みづらくなり、読書から遠ざかる方が多いことから、参考資料室にある「拡大読書器」を使いこれまで同様、読書を楽しんでいただけるよう講習会を開催した。また、所蔵している「大活字本」や、耳から聞く「イヤーズブック」を紹介し、その利用方法を具体的に紹介し、参加者に体験していただくワークショップを実施。とかく読書から離れがちな高齢者に新たな読書方法と、新たな形態の資料を紹介することにより、高齢者の読書活動の推進と、資料の利用促進を図るため実施。 ①開催日:平成29年9月18日(月/祝) ②開催場所:参考資料室 ③実施回数:1回 ④定員:6名 ⑤参加人数:6名 ⑥参加率:100.0%	「高齢者の図書館利用促進事業」の一つとして実施している事業。 拡大読書器を使った新たな読書方法を高齢者に紹介した。同時に、大活字本やイヤーズブックも紹介し、高齢者の読書活動の推進を図った。
	【高齢者の図書館利用促進事業】 出前DVD落語会 in文化センター	独自事業 【ムーブ】	高齢者を対象に、所蔵DVDの中から、明るい内容のDVDを選び、守口文化センター図書室に出張し開催。高齢者の図書室の利用促進と、読書活動の推進を図るため実施。 ①開催日:平成30年2月24日(土) ②開催場所:守口文化センター 図書室 ③実施回数:1回 ④定員:20名 ⑤参加人数36名 ⑥参加率:180.0%	「高齢者の図書館利用促進事業」の一つとして、平成22年以来継続して実施している事業。 守口地区にある文化センターで実施することにより、情報センター(庭窪地区)まで来ることが困難な高齢者に非常に好評を得ている。毎回、高齢者で賑わい、今後も継続していききたい事業である。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪公共図書館協会 司書研修会参加	大阪公共 図書館協会・ 大阪府立 図書館 との 協力事業 【ムーブ】	大阪公共図書館協会が主催する「障がい者サービス接遇・基本研修会」に参加。 障がいの種別に応じたきめ細かい障がい者サービス業務を行えるよう受講した。 ①実施日:平成29年5月24日(水) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:1名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。 図書館業務の一つである、障がい者サービス業務を円滑に行い、障がい者の利用のバリアフリー化に貢献できるよう受講した。安定した障がい者サービスが提供できるよう、今後も継続して受講し、スキルアップを図っていききたい。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府立中央図書館 司書研修会参加	大阪府立 図書館 との 協力事業 【ムーブ】	大阪府立中央図書館が主催する「大阪府下公共図書館 協力貸出業務担当者研修会」に参加し、リクエスト図書に係る相互貸借業務を円滑に行えるよう受講した。 ①実施日:平成29年5月31日(水) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:2名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。 図書館業務の一つである、協力貸出業務を円滑に行い、市民に安定したリクエストサービスを提供することができるよう受講した。 安定した図書サービスと司書のスキルアップを図るため今後も受講を継続していききたい。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪公共図書館協会 司書研修会参加	大阪公共 図書館協会・ 大阪府立 図書館 との 協力事業 【ムーブ】	大阪公共図書館協会が主催する「レファレンス・著作権研修会」に参加。 図書館資料に係る著作権を学び、安定したレファレンスサービス業務を行えるよう受講した。 ①実施日:平成29年6月1日(木)・14日(水)・23日(金) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:3回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:3名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。 大阪府立中央図書館が主催し、府下の公共図書館に勤務する司書が参加。 図書館資料に係る著作権を学び、市民に安定したレファレンスサービスを提供する事ができるよう受講。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業(図書事業)・ムーブ	【図書ネットワーク支援事業】 ムーブ21 & 各コミュニティセンター図書業務担当者研修会	コミュニティ推進課・生涯学習課との協力事業【ムーブ】	ムーブ21の司書が講師になり、各コミュニティセンター図書業務担当職員を対象に「予約・リクエスト業務研修会」を開催した。 一番多忙な夏休みを前に、研修会を行い、各コミセンの図書窓口で予約・リクエスト業務を円滑に行えるよう実施した。 ①実施日:平成29年6月8日(木) ②実施場所:ムーブ21 ③実施回数:2回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:21名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、初めて実施した事業。 図書館業務の一つである、予約・リクエスト業務を円滑に行い、市民に安定したリクエストサービスを提供することができるよう開催した。 安定した図書サービスと担当職員のスキルアップを図るため今後も継続していきたい。
	【図書ネットワーク支援事業】 図書館システムサーバー処理 & 情報確認	生涯学習課との協力事業【ムーブ】	毎年1回、情報センターでは、休館日に受電設備の法定点検を実施する。これに伴い、情報センターに設置されている守口市所有の「図書サーバー」も一時的に通電が停止される。 この停止前に、停電対応処理を実施し、また、通電後の復旧作業を行い、図書情報の整合性が保たれているかをチェックし確認する。 ①実施日:平成29年6月12日(月) ②実施場所:情報センター事務局 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:3名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。 情報センターは、受電設備の法定点検に伴う停電を年1回実施する。これにより、図書館システムのサーバーも停止されるが、停止前・停止後のサーバー処理を確実にし、堅牢性を確認する。 これにより、市民に安定した図書サービスを提供することができる。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府教育庁市町村教育室主催 公共図書館司書対象ビブリオバトル(書評合戦)研修会参加	大阪府教育庁との協力事業【ムーブ】	大阪府教育庁市町村教育室が主催する「公共図書館司書対象 ビブリオバトル研修会」に参加し、子ども達の読書推進に寄与するため、各地で開催が期待されるビブリオバトルを、公共図書館司書として具体的にどう取り組んでいくかを学び、将来、ビブリオバトルを地域に根付かせていけるよう履修した。 ①実施日:平成29年7月31日(月) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:1名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、初めて実施した事業。 国を上げて開催が期待されるビブリオバトルを将来図書フロアで開催できるよう、司書としてどのように取り組めばよいかを学んだ。 子ども達の読書活動に寄与し、ビブリオバトル開催をめざして今後も継続して受講していきたい。
	【図書ネットワーク支援事業】 文化庁 図書館等職員著作権実務研修会参加	大阪公共図書館協会・大阪府立図書館との協力事業【ムーブ】	文化庁が主催する「著作権実務研修会」に参加し、図書館業務全般に係る著作権について学び、司書が著作権者の権利を守り、市民への資料貸出業務を円滑に行うためのポイント等を履修した。 ①実施日:平成29年9月28・29日(木・金) ②実施場所:京都大学 ③実施回数:2回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:2名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、初めて実施した事業。 図書館業務の内、主たる業務である貸出業務に係る著作権について学び、市民に対し、円滑な貸出サービスを提供し、同時に、著作権者の立場を守る事ができるよう履修した。 市民に安定した図書サービスを提供できるよう、今後も継続して受講していきたい。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府図書館司書セミナー参加	大阪公共図書館協会・大阪府立図書館との協力事業【ムーブ】	生涯学習社会の構築に向け、その中核施設である図書館で働く司書・司書補が専門性を深め、資質向上を目指すため大阪府教育庁・府立中央図書館が主催する「図書館司書セミナー」に参加した。 ①実施日:平成29年10月13・20日(金) 11月2日(木) 12月8日(金) ②実施場所:大阪府立中央図書館 ③実施回数:4回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:5名 ⑥参加率:カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、今回はじめて実施した事業。 情報センターでは、平成5年から司書研修会を受講してきたが、第1回:「図書館でも使える歴史公文書」、第2回「本のこれからと書店」、第3回「大阪府の子ども読書活動推進について」、第4回「図書館を活かす空間デザイン」等を学んだ。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業（図書事業）・ムーブ	【図書ネットワーク支援事業】 大阪公共図書館協会 司書研修会参加	大阪公共 図書館協会・ 大阪府立 図書館 との 協力事業 【ムーブ】	大阪公共図書館協会が主催する「障がい者サービス実務研修会」に参加し、障がい者サービス業務を行う中で、図書館員として知っておきたい音訳図書の知識と技術、音声読み上げソフトによる蔵書検索、サビエ図書の利用方法を学ぶ。 ①実施日：平成30年1月18日（木） ②実施場所：大阪府立中央図書館 ③実施回数：1回 ④定員：カウント対象外 ⑤参加人数：1名 ⑥参加率：カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来実施している事業。 情報センターの司書の中で、障がい者サービス業務を主に務める司書が履修した。 障がい者サービスの注意点を克服し、安定したサービスができるよう受講した。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪公共図書館協会 司書研修会参加	大阪公共 図書館協会・ 大阪府立 図書館 との 協力事業 【ムーブ】	大阪公共図書館協会が主催する「参考業務基本研修会」に参加し、参考業務サービス業務を行う中で、経験年数を積んだ司書でも特に注意すべき分野・内容などを学び、他の公共図書館で参考業務サービスを担当する司書達と共に、実習を交えたカリキュラムを履修し、意見交換も行った。 今回の研修では、特に参考業務の中でも、郷土資料に特化したレファレンスを中心に受講した。 ①実施日：平成30年1月25日（木） ②実施場所：大阪府立中央図書館 ③実施回数：1回 ④定員：カウント対象外 ⑤参加人数：1名 ⑥参加率：カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来実施している事業。 情報センターの司書の中で、参考業務サービス業務を主に務める司書が履修した。 参考業務サービスの中で、特に郷土資料に特化したレファレンスの注意点を克服し、安定したサービスができるよう受講した。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府図書館司書 セミナー参加	大阪公共 図書館協会・ 大阪府立 図書館 との 協力事業 【ムーブ】	生涯学習社会の構築に向け、その中核施設である図書館で働く司書・司書補が専門性を深め、資質向上を目指すため大阪府教育庁・府立中央図書館が主催する「図書館司書セミナー」に参加した。 ①実施日：平成30年2月27日（火） ②実施場所：近畿大学図書館 ③実施回数：1回 ④定員：カウント対象外 ⑤参加人数：2名 ⑥参加率：カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、今回はじめて実施した事業。 「知の実験劇場」として平成29年4月に開館した近畿大学アカデミックシアター。そのコンセプトやこれまでの図書館とは違った取組み、今後の展望について学んだ。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府図書館協会 司書研修会参加	大阪府立 図書館 との 協力事業 【ムーブ】	大阪府立中央図書館が主催する「大阪府下公共図書館 児童サービス担当者連絡会」に参加し、児童サービス業務を行う中で、経験年数を積んだ司書でも特に注意すべき分野・内容などを学び、他の公共図書館で児童サービスを担当する司書達と共に、実習を交えたカリキュラムを履修し、意見交換も行った。 ①実施日：平成30年3月1日（木） ②実施場所：大阪府立中央図書館 ③実施回数：1回 ④定員：カウント対象外 ⑤参加人数：2名 ⑥参加率：カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来実施している事業。 情報センターの司書の中で、児童 サービス業務を主に務める司書が履修した。 児童サービスの注意点を克服し、安定したサービスができるよう受講した。
	【図書ネットワーク支援事業】 大阪府立中央図書館 司書研修会参加	大阪府立 図書館 との 協力事業 【ムーブ】	大阪府立中央図書館が主催する「大阪府下公共図書館 協力貸出業務担当者研修会」に参加し、リクエスト図書に係る相互貸借業務を円滑に行えるよう受講した。 ①実施日：平成30年3月9日（金） ②実施場所：大阪府立中央図書館 ③実施回数：1回 ④定員：カウント対象外 ⑤参加人数：2名 ⑥参加率：カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。 図書館業務の一つである、協力貸出業務を円滑に行い、市民に安定したリクエストサービスを提供することができるよう受講した。 安定した図書サービスと司書のスキルアップを図るため今後も受講を継続していきたい。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業（図書事業）・ムーブ	【その他の図書館利用促進事業】 わが町守口何でも情報～写真で見る守口の歴史＆新聞記事から知る守口の文化～	独自事業【ムーブ】	守口市の歴史と文化を、市民に紹介するため写真と新聞記事のパネル展示及び解説を実施。戦前の市民の暮らしぶり、学校や子ども達の様子、当時の町並みを撮影した写真や、終戦直後の極東米軍が撮影した貴重な航空写真などを展示。また、現代の町並みと昔の町並みの比較展示も実施。同時にこれまで新聞に掲載された「守口市の歴史」関連の記事を展示。 ①開催期間: 通年 ②開催場所: 図書フロア、1F展示コーナー・休憩室 ③実施回数: 期間中継続 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: カウント対象外 ⑥参加率: カウント対象外 ⑦その他 写真パネル展示: 31点 新聞記事展示: 35点	「その他の図書館利用事業」の一つとして、平成26年度から継続に実施した事業。 多数の市民が、この展示をご覧になり、当時の生活の様子や思い出を熱心にスタッフに話された。また、学校の教員の方も多く閲覧され、後日、生徒たちを伴い、図書フロアに来館されたケースも比較的多かった。
	【その他の図書館利用促進事業】 ムーブ図書フロア・文化センター図書室 共同事業 ～児童図書中心に所蔵資料の相互利用(保管場所の相互交換)と市民への提供～	独自事業【ムーブ】	文化センターには、児童図書の所蔵がないところから、守口地区の子どもたちの読書活動推進を図るため、ムーブの児童図書・絵本・紙芝居の中から選書した資料を一時的に文化センターに送り配架し、市民に供した。また、文化センターからは寄贈本を中心に、出版年次の古いものをムーブに送り、出版年次の新しいムーブ所蔵本との比較展示を実施。 ①実施期間: 通年 ②実施場所: ムーブ図書フロア、文化センター図書室 ③実施回数: 期間中継続 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: カウント対象外 ⑥参加率: カウント対象外 ⑦その他 相互交換冊数: 305冊	「その他の図書館利用事業」の一つとして実施した事業。 両センターで、互いの資料の一部を交換し、新たな場所で市民に供することにより、新たな利用者の増加、新たな資料の提供が図られた。また、文化センターは、比較的高齢の利用者が多いが、児童書等の配架により、孫世代をつれて来館されたり、また、親子3代での来館する姿が見られるなど、新たな利用が広がった。
	【その他の図書館利用促進事業】 ビジネス支援 ～関連資料展示・貸出＆調査相談～	独自事業【ムーブ】	図書館利用者が少ないと言われる現役ビジネスマン層を対象に、ビジネスに役立つ資料を展示、資料の利用促進を図った。 またビジネス関連の調査相談を実施しビジネスマンの利用促進を図った。 ①開催期間: 平成29年4月1日(土)～9月24日(日) ②開催場所: 参考資料室・展示コーナー ③実施回数: 期間中継続 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: 8名(相談受付人数) ⑥参加率: カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数: 358冊 相談件数: 8件	「その他の図書館利用事業」の一つとして、26年度から引続き実施した事業。 ビジネスマンやOLの方が利用しやすいよう、一般図書や児童図書の展示場所から離れた場所に配置し、資料を利用した調べ物ができるよう展示方法を工夫した。大阪府立中之島図書館で実施されているビジネス支援関連事業を参考に実施した。これからも充実を図っていきたい事業である。
	【その他の図書館利用促進事業】 七夕まつり ～愛と希望のメッセージ～ 短冊記入＆関連資料展示・貸出	独自事業【ムーブ】	子どもから大人までさまざまな人が楽しむ年中行事である「七夕まつり」を、図書フロアはじめ館内で大規模に実施。図書フロアでは、七夕関連本の展示・貸出、各地の七夕まつりのポスター掲示、「七夕の由来」を掲示し、読書活動の推進を図った。 ①開催期間: 平成29年6月20日(火)～7月7日(金) ②開催場所: 1F受付横、2F図書フロア、4Fプラネタリウムドーム前 ③実施回数: 期間中継続 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: 251名(短冊記入者) ⑥参加率: カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数: 95冊	「その他の図書館利用事業」の一つとして、平成10年度以来、継続して実施している事業。 毎年、子どもから大人まで多くの方が参加し、短冊に願い事を記入し飾られている。今年は、本事業に参加するため来館された幼稚園・保育所もあり、熱心に短冊を記入し、笹に飾られていた。関連資料も多数展示したが、全て貸出され、大変盛況であった。
	【その他の図書館利用促進事業】 納涼 DVD落語会	独自事業【ムーブ】	夕涼みがてら、図書フロアでの楽しいひと時を過ごしてもらうため実施。夏休み最初の土・日に館全体でイベント開催する「夏休みファミリーフェスタ」の中の行事として実施。開演前にお囃子やBGMを流して、落語会の雰囲気づくりと参加者同士のコミュニケーションの場となるような会場設営に努めた。所蔵資料(DVD)の活用と図書フロアの利用促進を目的として実施。 ①開催日: 平成29年7月29日(土) ②開催場所: 図書フロアカウンター前 ③実施回数: 1回 ④定員: 30名 ⑤参加人数: 30名 ⑥参加率: 100.0%	「その他の図書館利用事業」の一つとして、平成20年度以来、継続して実施している事業。 図書フロアで、市民に古典芸能を楽しんでいただくため実施した。 参加者からは、「冷房が効いた空間で、楽しい落語が聞けて良かった」、「米朝さん、枝雀さんの落語が聞けて、毎回参加している。これからも必ず開催してほしい」等、楽しい要望が寄せられた。 浴衣姿で参加されている若いカップルや、高齢者のご夫婦など、夏らしい楽しい事業で、参加年齢層も広く、参加者同士の会話が弾んでいた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業（図書事業）・ムーブ	【その他の図書館利用促進事業】 たのしいひな祭り ～昔と今のおひなさま展示 &関連資料の展示・貸出～	独自事業 【ムーブ】	子どもから大人までさまざまな人が楽しむ年中行事である「ひなまつり」を図書フロアをはじめエントランスホールで大規模に実施。エントランスホール正面奥、滝の前で、大正・昭和・平成それぞれの時代に製作された雛飾り5セット及び親王飾りなどを展示。また、ひな人形の由来をパネル掲示し、来館者に紹介。同時に、図書フロアではひなまつりに関する関連本の展示・貸出を行い、資料の利用促進を図るため実施。 ①開催期間:平成30年2月21日(水)～3月31日(土) ②開催場所:図書フロア、エントランスホール ③実施回数:期間中継続 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外	「その他の図書館利用事業」の一つとして、平成20年度以来、継続して実施している事業。 住宅事情等で雛人形を段飾りする家庭が減少しており、利用者の皆さんから「毎年楽しみにしている」と切望される事業である。 珍しい大正期の御殿雛から平成の段飾り迄5セットを収集し展示した。 毎回、市内のみならず他市からの見学者も多く、雛段をバックにご家族揃って記念写真を撮っておられるご家族もいる。 各時代の雛人形の違いや細かい細工の説明をスタッフが行うと、とても熱心に説明を聞かれ、「これからも毎年開催してほしい」と熱いリクエストをいただいた。 男女問わず、各年齢層から非常に好評を得ている事業である。
	【情報提供事業】 レファレンス事業 生涯学習情報誌の発行	独自事業 【ムーブ】	市民の生涯学習活動に寄与するため、情報誌を発行した。「団体グループ情報」「指導者情報」のほか、「学校教育施設」「社会教育施設」「その他公共施設」等の所在地・電話番号を記載し、より身近な学習情報を提供。 ①配布期間:通年 ②配布場所:図書フロア、文化センター ③発行部数:600部	「情報提供事業」の一つとして、平成18年度以来、継続して実施している事業。 「これから何かを学びたい」、「趣味を増やしたい」等、サークルや指導者を探しておられる方々が、手に取られている。 配架した途端、多くの方々が持ち帰られて、すぐになくなってしまったため、27年度より発行部数を増やしている。
	【情報提供事業】 レファレンス事業 生涯学習情報 （「指導者情報」 「団体・グループ情報」 の提供	独自事業 【ムーブ】	「何かを学びたい」「こんなサークルはないか」「どこに行けば教えてもらえるか」など、生涯学習について相談を受けた司書が、情報センター独自で収集した「団体グループ情報」「指導者情報」や民間情報を用いて、相談者に情報提供。生涯学習活動の支援を図るため実施。 ①実施期間:通年 ②実施場所:参考資料室、相談室 ③実施回数:27回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:29名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 相談件数:27件	「情報提供事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 相談者は、中高年特に女性の相談が多かったが、中には後期高齢者の男性の姿もあった。 「資格取得」、「就労に活かせる講座の案内」等の相談が多かった。 補助金対象講座の有無を尋ねられる事が多く、ハローワーク等の情報も収集しながら相談に応じた。
	【情報提供事業】 レファレンス事業 調査相談・読書相談 (所蔵調査含む)	独自事業 【ムーブ】	図書フロアの司書業務の一環として、利用者からの読書相談・調査相談・資料の所蔵調査などを受付し回答。市民の読書活動・生涯学習活動の支援を図るため実施。 ①実施期間:通年 ②実施場所:図書カウンター、参考資料室、相談室、その他電話受付可。 ③実施回数:3,443回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:3,443名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦内容 1)さまざまな読書相談 2)調べ学習の支援(調査相談) 3)所蔵調査 (自館分・市内他館分・国立国会図書館・大阪府立図書館・大阪府立図書館・他県立図書館・他市町村立図書館等) 4)関連機関所蔵調査 (大学図書館・国立民族学博物館・大阪児童文学館等)	「情報提供事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 「もりぐち図書情報ステーション」が稼働して後、他市の公共図書館はじめ大学図書館、専門図書館、各家庭、個人からネットの資料検索・予約ができるようになり、これまでに比べ大幅に所蔵調査件数が減少した。

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムーブ21図書フロア利用者対象

項目	協定事項等	分析																																								
評価の方法	(加重平均値の算出例) 加重平均とは、平均値を計算する時、各項の数値にその重要度に比例した係数を掛け、各項に重みをつけてから平均すること。(重みつき平均)	《利用者満足度の評価》 点数化(5点満点)し、点数に応じて7段階(S～F)のランク付けにより評価する。 《点数化の方法》 ① 選択肢の配点 選択肢の重みに応じて点数を付与																																								
	<table><tr><th>満足度</th><th>回答(A)</th><th>係数(B)</th><th>点数(A×B)</th></tr><tr><td>とても満足</td><td>10名</td><td>5</td><td>50点</td></tr><tr><td>満足</td><td>20名</td><td>4</td><td>80点</td></tr><tr><td>ふつう</td><td>30名</td><td>3</td><td>90点</td></tr><tr><td>不満</td><td>20名</td><td>2</td><td>40点</td></tr><tr><td>とても不満</td><td>10名</td><td>1</td><td>10点</td></tr><tr><td>計</td><td>90名(C)</td><td></td><td>270点(D)</td></tr></table>	満足度	回答(A)	係数(B)	点数(A×B)	とても満足	10名	5	50点	満足	20名	4	80点	ふつう	30名	3	90点	不満	20名	2	40点	とても不満	10名	1	10点	計	90名(C)		270点(D)	<table><tr><th>選択肢</th><th>配点</th></tr><tr><td>とても満足</td><td>5点</td></tr><tr><td>満足</td><td>4点</td></tr><tr><td>ふつう</td><td>3点</td></tr><tr><td>不満</td><td>2点</td></tr><tr><td>とても不満</td><td>1点</td></tr></table>	選択肢	配点	とても満足	5点	満足	4点	ふつう	3点	不満	2点	とても不満	1点
	満足度	回答(A)	係数(B)	点数(A×B)																																						
とても満足	10名	5	50点																																							
満足	20名	4	80点																																							
ふつう	30名	3	90点																																							
不満	20名	2	40点																																							
とても不満	10名	1	10点																																							
計	90名(C)		270点(D)																																							
選択肢	配点																																									
とても満足	5点																																									
満足	4点																																									
ふつう	3点																																									
不満	2点																																									
とても不満	1点																																									
	上記の例の加重平均値は「3.0」となる。 (D÷C=3.0)	② 加重平均値の算出 有効回答者数(無回答除く)に選択肢の配点を乗じて得た得点の合計数を有効回答者数の合計で割ると加重平均値(5点満点)が算出される。																																								
実施方法・回答者数	平成29年度においては、図書フロアにおいて2回実施した。ここでは、最新の2回目のアンケート結果を掲載し、1回目については、前回分として掲載した。	《7段階のランク付けによる評価》 加重平均値に応じて、7段階のランク付けを行い、満足度を評価する。																																								
	○調査期間 1回目 平成29年9月1日(金)～5日(火) 2回目 平成30年3月15日(木)～18日(日) ○実施方法 図書フロア利用者に配布し回収箱にて回収 ○回答者数 1回目 100名 2回目 116名 ○調査項目 設問は「満足度に関するもの」が8問、「満足度以外に関するもの」が8問で、16問設定	<table><tr><td>S</td><td>極めて高いレベル 加重平均値4.5点以上</td></tr><tr><td>A</td><td>高いレベル 4点以上4.5点未満</td></tr><tr><td>B</td><td>やや高いレベル 3.5点以上4点未満</td></tr><tr><td>C</td><td>通常のレベル 2.75点以上3.5点未満</td></tr><tr><td>D</td><td>低いレベル 2点以上2.75点未満</td></tr><tr><td>E</td><td>不満足レベル 1.5点以上2点未満</td></tr><tr><td>F</td><td>緊急に改善を要するレベル 1.5点未満</td></tr></table>	S	極めて高いレベル 加重平均値4.5点以上	A	高いレベル 4点以上4.5点未満	B	やや高いレベル 3.5点以上4点未満	C	通常のレベル 2.75点以上3.5点未満	D	低いレベル 2点以上2.75点未満	E	不満足レベル 1.5点以上2点未満	F	緊急に改善を要するレベル 1.5点未満																										
S	極めて高いレベル 加重平均値4.5点以上																																									
A	高いレベル 4点以上4.5点未満																																									
B	やや高いレベル 3.5点以上4点未満																																									
C	通常のレベル 2.75点以上3.5点未満																																									
D	低いレベル 2点以上2.75点未満																																									
E	不満足レベル 1.5点以上2点未満																																									
F	緊急に改善を要するレベル 1.5点未満																																									

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムーブ21図書フロア利用者対象	項目	協定事項等		分析	
	施設・整備の充実度	【()内数値は前回分】		【評価】	
		とても満足	62名	27.6% (31.0%)	平均値は4.03点で、前回と同様に「A(高い満足度レベル)」ランクで、高い評価が得られた。前回と比較して0.1点の減である。
		満足	111名	49.3% (51.5%)	
		ふつう	48名	21.3% (17.0%)	
		不満	4名	1.8% (0.5%)	
		とても不満	0名	0% (0%)	
	計	225名	【無回答;7】	「とても満足」と「満足」を合算すると76.9%の人が満足と回答し、前回(82.5%)と比較して5.6ポイントの減である。	
	加重平均	4.03点	(4.13点)		
	ランク	A	(A)		
《構成比率の合計は、四捨五入の関係で100%にならない場合がある》			施設の清潔度と備品の満足度の2問設定し、数値は2問の合算		
施設の利用のしやすさ	【()内数値は前回分】		【評価】		
	とても満足	43名	18.7% (25.0%)	平均値は3.87点で、前回と同様に「B(やや高い満足度レベル)」ランクの上位である。前回と比較して0.05点の減である。	
	満足	118名	51.3% (44.5%)		
	ふつう	65名	28.3% (28.0%)		
	不満	4名	1.7% (2.5%)		
	とても不満	0名	0% (0%)		
計	230名	【無回答;2】	「とても満足」と「満足」を合算すると70%の人が満足と回答し、前回(69.5%)と比較して0.5ポイントの増である。		
加重平均	3.87点	(3.92点)			
ランク	B	(B)			
書架案内と施設利用の満足度の2問設定し、数値は2問の合算					
職員の対応・態度	【()内数値は前回分】		【評価】		
	とても満足	42名	36.2% (45.0%)	平均値は4.24点で、前回と同様に「A(高い満足度レベル)」ランクで、高い評価が得られた。前回と比較して0.12点の減である。4つの調査項目中、前回と同様に最も高い平均値を維持している。要因としては、窓口に長年にわたる司書有資格者(全員)の配置によって、迅速かつ的確な窓口対応ができた結果だと推察される。	
	満足	60名	51.7% (46.0%)		
	ふつう	14名	12.1% (9.0%)		
	不満	0名	0% (0%)		
	とても不満	0名	0% (0%)		
計	116名	【無回答;0】	「とても満足」と「満足」を合算すると87.9%の人が満足と回答し、前回(91%)と比較して3.1ポイントの減である。		
加重平均	4.24点	(4.36点)			
ランク	A	(A)			

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムーブ21図書フロア利用者対象

項目	協定事項等			分析
利用時間	【()内数値は前回分】			【評価】
	とても満足	70名	20.2% (23.4%)	平均値は3.71点で、前回と同様「B(やや高い満足度レベル)」ランクの中位である。前回と比較して0.05点の減である。
	満足	153名	44.2% (40.1%)	
	ふつう	79名	22.8% (26.1%)	
	不満	40名	11.6% (10.0%)	
	とても不満	4名	1.2% (0.3%)	
計	346名	【無回答:2】		「とても満足」と「満足」を合算すると64.4%の人が満足と回答し、前回(63.5%)と比較して0.9ポイントの増である。
加重平均	3.71点	(3.76点)		一方「とても不満」と「不満」を合算すると、12.8%の人が不満と回答し、前回(10.3%)と比較して2.5ポイントの増である。特に「土・日・祝の開館時間」は、26.7%(前回は22%)が不満と回答し、開館時間の延長を求める声が4人に1人となっている。
ランク	B	(B)		
休館日、平日の開館時間及び土・日・祝日の開館時間の満足度の3問設定し、数値は3問の合算				
総合評価	【()内数値は前回分】			【評価】
	調査項目別加重平均とランク			各調査項目を合算した全体の平均値は、前回(3.97点)より0.08点の減で3.89点である。ランクは前回と同様「B」ランクの上位で、「A」ランクを目指し、サービスの充実に努めていきたい。
	施設・設備の充実度	4.03点	A	
		(4.13点)	(A)	
	施設の利用のし易さ	3.87点	B	
		(3.92点)	(B)	
	職員の対応・態度	4.24点	A	各調査項目のランクは、4項目とも前回と同じランクであり、「A」ランクが2項目、「B」ランクが2項目である。
		(4.36点)	(A)	
	利用時間	3.71点	B	
		(3.76点)	(B)	
全体平均	3.89点	B		
	(3.97点)	(B)	4項目のうち、平均値が最も高かったのが、前回と同様「職員の対応・態度」である。逆に最も低かったのは、前回と同様「利用時間」である。	
前回と比較して、平均値が4項目とも微減ではあるが減少したことは、真摯に受けとめ、更なるサービスの充実に努める必要がある。				

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

	項目	協定事項等	分析
		【()内数値は前回分】	
利用者アンケート調査の結果・ムーブ21図書フロア利用者対象	その他 (満足度以外のアンケート結果)	○ 性別	概ね女性が55%。男性が45%で、女性の方が男性より1割程度多い。前回より男性が2.8ポイントの増で、女性は2.8ポイントの減である。
		男 性 52名 44.8% (42.0%)	
		女 性 64名 55.2% (58.0%)	
		無回答 0名 0% (0%)	
		計 116名	
		○ 年齢層	「60歳代・40歳代」が2割を超え、次いで「30歳代」と続き、最も少ないのは「20歳代」である。前回は、「40歳代」が最も多く3割を超え、次いで「60歳代」、「30歳代」と続き、最も少ないのは、今回と同様に「20歳代」であった。
		10歳代 7名 6.0% (9.0%)	
		20歳代 3名 2.6% (5.0%)	
		30歳代 20名 17.2% (18.0%)	
		40歳代 24名 20.7% (31.0%)	
		50歳代 18名 15.5% (9.0%)	
		60歳代 27名 23.3% (19.0%)	
		70歳以上 15名 12.9% (7.0%)	
		無回答 2名 1.7% (2.0%)	
		計 116名	
		○ 住居	守口市が9割を占め、前回も9割強で、圧倒的に市内在住者の利用が多い。
		守口市 104名 89.7% (93.0%)	
		その他 9名 7.8% (4.0%)	
		無回答 3名 2.6% (3.0%)	
		計 116名	
		○ 利用頻度	「2週間に1回」の利用が最も多く4割を超え、貸出期間(2週間)に合わせた来館と推察される。次いで「1週間に1回」であり、2週間以内の来館は74.2%である。前回は2週間以内の来館は76%であった。
		初めて 2名 1.7% (4.0%)	
		ほぼ毎日 0名 0.0% (2.0%)	
		1週間に2回以上 6名 5.2% (4.0%)	
		1週間1回 32名 27.6% (24.0%)	
		2週間に1回 48名 41.4% (46.0%)	
		3週間に1回 10名 8.6% (4.0%)	
		月に1回 6名 5.2% (8.0%)	
		年に数回 11名 9.5% (6.0%)	
		ほとんど利用しない 0名 0% (2.0%)	
		無回答 1名 0.9% (0%)	
		計 116名	

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムーブ21図書フロア利用者対象	項目	協定事項等		分析	
	その他 (満足度以外のアンケート結果)	○ 利用目的			「読みたい本を探すため」が最も多く5割を占め、次いで「資料の貸出・返却のため」が3割である。前回も「読みたい本を探すため」が5割近くを占め、「資料の貸出・返却のため」は、概ね27%であった。
		資料の貸出・返却	56名	30.8% (26.6%)	
		読みたい本を探す	90名	49.5% (47.5%)	
		新聞や雑誌を読む	15名	8.2% (6.3%)	
		閲覧室の利用	3名	1.6% (3.2%)	
		調べもの	11名	6.0% (10.1%)	
		ボランティア事業に参加	0名	0% (0.6%)	
		館内のイベントに参加	5名	2.7% (2.5%)	
		視聴覚コーナーを利用	0名	0% (0.6%)	
その他		1名	0.5% (1.9%)		
無回答	1名	0.5% (0.6%)			
計	182名				
○ もりぐち図書情報ステーション			図書情報ステーションの認知度は、「知らないが」が6割近くを占め、「知っている」が4割で低い状況にある。前回も同様に6割の人が「知らない」と回答していた。		
① 周知度					
知っている	45名	38.8% (39.0%)			
知らない	66名	56.9% (61.0%)			
無回答	5名	4.3% (0%)			
計	116名				
②「知っている」と回答した人の利用の有無			図書情報ステーションの利用度は、「知っている」と回答した人のうち、「利用していない」が55.6%、「利用している」は42.2%である。前回と比較すると、「利用している」が6.3ポイントの増で、「利用していない」が5.9ポイントの減で、利用度は若干ではあるが高くなっている。		
利用している	19名	42.2% (35.9%)			
利用していない	25名	55.6% (61.5%)			
無回答	1名	2.2% (2.6%)			
計	45名				

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

市民からの意見・要望等 (ムーブ・図書フロア)	主な意見・要望等	対応状況等(上記アンケートによる対応)
	土・日・祝の開室時間を延長してほしい。	開室時間については、市の条例により定められている。平日は、夜8時まで開室しているので、活用していただきたい。
	ロッカー前にカバンを置く机を設置してほしい。	早速、ロッカー用の荷物台を設置しましたので、ご利用いただきたい。
	もりぐち図書情報ステーションの中の新しく入った資料の表示を見やすくしてほしい。	一覧表示の方法として、表示順を変更することで、お好みの表示が可能ですのでご利用いただきたい。
	まんがを設置してほしい。	まんがについては、市の収集方針の対象外となっており、現在は、学習漫画のみ許可を得て収集を行っております。
	絵本を大きな声で読めるような部屋を設けてほしい。	館内での新たな部屋の設置は、スペースの関係上、無料で使用できる部屋をこれ以上増やせないの、ご理解いただきたい。
	その他 (アンケートで記載されたもの)	○借りることのできる本の数が多くて満足です。おはなし会の読み聞かせも良いです。おはなし会をぜひ平日にも開催してもらえると嬉しいです。 ○いつも清潔にフロアが保たれていて、本もキレイな状態で嬉しい。また、スタッフの方がとても親切でgoodです。図書フロアにくるのが楽しみです。 ○ネット予約は大変便利でとてもありがたい。いつも利用させていただいています。 ○図書フロアのイベントに子供と一緒にいつも参加しています。ムーブはいろんなイベントがたくさんあり楽しみ。 ○文庫本の棚ですが、一番高いところと、一番下の本が探しにくい。 ○現状で充分満足です。いつもありがとうございます。 ○子どもの本がたくさんあり、気に入ってます。 ○人気の絵本は、すぐく利用が多いためか、ボロボロになりがちです。ぜひ、複数で購入するか、ラミネート加工してほしい。

利用者満足度評価 コメント

利用者満足度の評価にあたっては、評価の精度を高めるため、数値化(5点満点)し、7段階のランク付けによる評価を採用した。図書フロアにおける調査項目全体の平均値は、3.89点、「Bランク(やや高いレベル)」であり、高い評価が得られた。

また、アンケート各設問での回答数は917人であり、そのうち満足(とても満足・満足)と答えた人は、659人(71.9%)で、7割強の人が満足と回答している。逆に不満(不満・とても不満)と答えた人は、52人(5.7%)であり、大半は「利用時間」に集中している。特徴的なことは、「職員の対応・態度」が、前回と同様に不満と答えた人が皆無であった点である。

今後共、アンケートの精度を高めるため、前回より回答者数を増やすよう努めていきたい。

市民からの意見・要望については、改善できるものは、速やかに対処し、副えない場合や予算を伴うものについては、その理由を明記して、理解していただくよう努めていく。なお、アンケート結果の詳細については、速やかにホームページに掲載し広く市民に報告した。

今後も市と連携しながら、満足度の高い図書サービス水準を維持するよう努めたい。

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムーブ21施設利用対象

項目	協定事項等	分析																																				
実施方法・回答者数	○調査期間 平成29年4月1日(土)～30年3月31日(土) (前回調査は、平成28年度に実施) ○実施方法 アンケート用紙・回収箱を館内に配置し、施設利用者に随時記入を呼びかけている。 ○回答者数 79名																																					
施設・整備の充実度	<table><tr><td colspan="4">【()内数値は前回分】</td></tr><tr><td>とても満足</td><td>25 名</td><td>59.5 %</td><td>(10.3%)</td></tr><tr><td>満足</td><td>4 名</td><td>9.5 %</td><td>(13.8%)</td></tr><tr><td>ふつう</td><td>12 名</td><td>28.6 %</td><td>(62.1%)</td></tr><tr><td>不満</td><td>1 名</td><td>2.4 %</td><td>(13.8%)</td></tr><tr><td>とても不満</td><td>0 名</td><td>0 %</td><td>(0%)</td></tr><tr><td>計</td><td>42 名</td><td colspan="2">【無回答:37件】</td></tr><tr><td>加重平均</td><td>4.26 点</td><td colspan="2">(3.21点)</td></tr><tr><td>ランク</td><td>A</td><td colspan="2">(C)</td></tr></table>	【()内数値は前回分】				とても満足	25 名	59.5 %	(10.3%)	満足	4 名	9.5 %	(13.8%)	ふつう	12 名	28.6 %	(62.1%)	不満	1 名	2.4 %	(13.8%)	とても不満	0 名	0 %	(0%)	計	42 名	【無回答:37件】		加重平均	4.26 点	(3.21点)		ランク	A	(C)		【評価】 前回の「C:通常のレベル」より2ランク上昇して「A:高いレベル」にアップした。
【()内数値は前回分】																																						
とても満足	25 名	59.5 %	(10.3%)																																			
満足	4 名	9.5 %	(13.8%)																																			
ふつう	12 名	28.6 %	(62.1%)																																			
不満	1 名	2.4 %	(13.8%)																																			
とても不満	0 名	0 %	(0%)																																			
計	42 名	【無回答:37件】																																				
加重平均	4.26 点	(3.21点)																																				
ランク	A	(C)																																				
施設の利用のしやすさ	<table><tr><td colspan="4">【()内数値は前回分】</td></tr><tr><td>とても満足</td><td>63 名</td><td>52.5 %</td><td>(31.0%)</td></tr><tr><td>満足</td><td>10 名</td><td>8.3 %</td><td>(12.6%)</td></tr><tr><td>ふつう</td><td>45 名</td><td>37.5 %</td><td>(48.3%)</td></tr><tr><td>不満</td><td>2 名</td><td>1.7 %</td><td>(6.9%)</td></tr><tr><td>とても不満</td><td>0 名</td><td>0.0 %</td><td>(1.1%)</td></tr><tr><td>計</td><td>120 名</td><td colspan="2">【無回答:196件】</td></tr><tr><td>加重平均</td><td>4.12 点</td><td colspan="2">(3.66点)</td></tr><tr><td>ランク</td><td>A</td><td colspan="2">(B)</td></tr></table>	【()内数値は前回分】				とても満足	63 名	52.5 %	(31.0%)	満足	10 名	8.3 %	(12.6%)	ふつう	45 名	37.5 %	(48.3%)	不満	2 名	1.7 %	(6.9%)	とても不満	0 名	0.0 %	(1.1%)	計	120 名	【無回答:196件】		加重平均	4.12 点	(3.66点)		ランク	A	(B)		【評価】 前回の「B:やや高いレベル」より1ランク上昇して「A:高いレベル」にアップした。 利用のしやすさ、費用、清潔度等について4問設定し、数値は4問の合算
【()内数値は前回分】																																						
とても満足	63 名	52.5 %	(31.0%)																																			
満足	10 名	8.3 %	(12.6%)																																			
ふつう	45 名	37.5 %	(48.3%)																																			
不満	2 名	1.7 %	(6.9%)																																			
とても不満	0 名	0.0 %	(1.1%)																																			
計	120 名	【無回答:196件】																																				
加重平均	4.12 点	(3.66点)																																				
ランク	A	(B)																																				

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムーブ21施設利用対象

項目	協定事項等			分析
職員の対応・態度	【()内数値は前回分】			【評価】
	とても満足	43 名	63.2 % (46.7%)	前回同様「A: 高いレベル」を維持。 今後もこの高い満足度を維持できるよう研修等を行い評価を維持できるよう努める。
	満足	5 名	7.4 % (6.7%)	
ふつう	19 名	27.9 % (46.7%)		
	不満	0 名	0.0 % (0%)	
	とても不満	1 名	1.5 % (0%)	
	計	68 名	【無回答:90件】	
	加重平均	4.31 点	(4.00点)	
	ランク	A	(A)	
利用時間	【()内数値は前回分】			【評価】
	とても満足	41 名	70.7 % (41.2%)	前回「B: やや高いレベル」より2ランク上昇して「S: 極めて高いレベル」にアップした。
	満足	7 名	12.1 % (14.7%)	
	ふつう	10 名	17.2 % (41.2%)	
	不満	0 名	0.0 % (0%)	
	とても不満	0 名	0.0 % (2.9%)	
計	58 名	【無回答:21件】		
	加重平均	4.53 点	(3.91点)	
	ランク	S	(B)	
総合評価	【()内数値は前回分】			【評価】
	調査項目別加重平均とランク			概ね前回同様高いレベルの評価をいただき、全体平均も前回同様「B: やや高いレベル」の評価。 今後も日々の接遇向上に努め、利用満足度の向上に努めたい。
	施設・設備の充実度	4.26 点	A	
		(3.21点)	(C)	
	施設の利用のし易さ	4.12 点	A	
		(3.66点)	(B)	
	職員の対応・態度	4.31 点	A	
	(4.00点)	(A)		
	利用時間	4.53 点	S	
		(3.91点)	(B)	
	全体平均	4.27 点	A	
		(3.69点)	(B)	

市民からの意見・要望等（ムーブ）	主な意見・要望等	対応状況等（上記アンケートによる対応）
	無料でビデオ鑑賞や休憩ができて大変便利な施設と思う。	引続き、利用者に便利な施設であり続けたい。
	ビデオコーナーの窓の飾りがきれい。	引続き、利用者に良い印象をもってもらえる雰囲気作りに努めたい。
	清掃が行き届いている。	引続き、利用者に良い印象をもってもらえる施設運営に努めたい。
	自習室を作って欲しい。	守口市と協議しながら実現の可能性を模索したい。
	時計が見えにくい。	守口市と協議しながら設置場所の変更の可能性を模索したい。
	特に250cc級のオートバイは、駐車場所をとり、所定のバイク置場に置きにくい。検討して下さい。	守口市と協議しながら実現の可能性を模索したい。
	休館日を無しにして欲しい。	守口市と協議しながら実現の可能性を模索したい。
利用者満足度評価 コメント		
概ね前回同様高い評価を得た。今後もこの高評価を維持出来るように日々の業務に精進していきたい。 今回は設備に関連しての要望がいくつか見られる。今回の意見も参考に施設の改修計画に盛り込まれ、よりよい施設の整備を求めたい。 アンケートの回収数については、引続きより多くの数を得られるようアンケートの実施に努めたい。		

2 施設のサービス水準
(4) 守口市生涯学習情報センターの収支状況の分析・評価

【収入の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	実績－予算	備考
委託料		125,205,800	124,851,528	-354,272	差額は修繕料戻入額
利用料金等	施設利用料	13,068,000	11,378,758	-1,689,242	
	雑入	100,000	167,722	67,722	
収入合計		138,373,800	136,398,008	-1,975,792	

【支出の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	予算－実績	備考
人件費	給与費	21,384,000	19,085,576	2,298,424	
	福利厚生費	1,056,000	804,485	251,515	
	法定福利費	5,876,000	5,608,320	267,680	
	賃金等	15,236,000	16,212,894	-976,894	
事務費	印刷費	443,800	363,488	80,312	
	通信費	1,442,000	1,285,787	156,213	
	保険料	148,000	148,750	-750	
	事務用品費	6,000,000	4,627,200	1,372,800	消耗品費
	旅費交通費	60,000	37,740	22,260	
	賃借料	1,021,000	782,871	238,129	諸使用料
管理費	業務委託費	45,000,000	42,003,543	2,996,457	諸委託料
	光熱水費	17,761,000	15,298,161	2,462,839	
	修繕費	3,500,000	3,145,728	354,272	
	燃料費	0	0	0	
物件費	備品購入費	13,550,000	13,502,226	47,774	消耗什器備品費
事業費	事業費				
	賞与引当金繰入額		1,299,000	-1,299,000	人件費
	通勤手当	1,163,000	1,184,380	-21,380	人件費
	諸謝金	360,000	338,000	22,000	
	負担金	53,000	52,000	1,000	
	法人税等	40,000		40,000	経常外費用
	手数料等	180,000	148,261	31,739	
	渉外費	0	0	0	
	雑費	0	1,000	-1,000	
公租公課	租税公課	4,100,000	3,726,400	373,600	法人税を含む
支出合計		138,373,800	129,655,810	8,717,990	

収支(実績ベース)

136,398,008	—	129,655,810	=	6,742,198
-------------	---	-------------	---	-----------

収支状況 コメント
今年度は、実績ベースでは若干の増収となり、経費の縮減効果も見られたため、約674万2千円の黒字となった。 今後も引き続き、センターの設置目的や当法人の設立目的を踏まえ、より効果的で適正な施設運営に努めたい。